

株式会社 キヤスト



PROFILE
2022



www.kkcast.co.jp

白河工場



事業内容

当社は鋳造品を製造、販売しています。材質はFC（片状黒鉛鋳鉄）、FCD（球状黒鉛鋳鉄）、合金鋳鉄を製造し、造型プロセスはフラン有機自硬性鋳型で、半自動化ラインと手込み工程で製造しています。取扱重量は50kg～4,000kg 月間生産数は1種類あたり最大200～300個の生産が可能です。生産品目は産業用ロボット関連を中心に、半導体実装機用フレーム、工作機フレーム、土木・建設機械関連、船舶エンジン部品・車軸部品等を供給しております。

代表挨拶

キャストは1889年（明治 22年）に東京・深川で創業以来、鋳物専門メーカーとして本日まで多くのお客様にご愛顧頂いております。1994年（平成6年）3月に工場を東京都江東区から福島県白河市に全面移転しました。白河工場は、将来に向けた鋳造業となる為に、徹底したクリーン化を図り、今迄の鋳造工場のイメージを一新した、職場環境を実現しています。ユーザーのニーズにお応えする為に新鋭設備を整え、手込み鋳造の量産に対応出来る体制を敷いております。

技術・技能の伝承が難しいと言われている鋳造業ですが、当社は多くの若手社員が順調に育ってきており、永年培った固有技術とITを組み合わせ、新しい時代の鋳物工場としてお役に立てるものと確信しております。皆様の益々のご発展をご祈念申し上げます。

経営方針

AIM TO BE BEST

1. 私達はお客様のニーズにあった最良の鋳造品を現在及び将来に亘って安定供給致します。
2. 私達は地域社会と密着し貢献致します。
3. 私達は工場内外の環境整備を徹底して行います。
4. 私達は健康で文化的なゆとりのある生活を目指します。

会社概要

社名	株式会社キャスト
代表取締役	若林 誠
創業	明治22年(1889年)3月
URL	http://www.kkcast.co.jp/
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル27階
白河工場所在地	〒961-0302 福島県白河市東上野出島字笹久保2番地
電話番号	TEL 0248-34-3971 FAX 0248-34-3973
工場敷地	総面積:42,846㎡ 工場建物:3,960㎡ 事務所他:401㎡
資本金	35,000,000円
従業員数	43名
事業内容	普通鋳鉄、ダグタイル鋳鉄、特殊鋳鉄、超抗張力鋳鉄など製造および販売

沿革

西暦	年月	項目
1889年	明治22年3月	深川御船蔵前町(現在の東京都江東区)に酒井鑄造所を創立
1923年	大正12年4月	深川海辺町(現在の東京都江東区)に酒井耐熱鑄工所を開設
1942年	昭和17年1月	株式会社へ改組、株式会社酒井耐熱鑄工所となる
1961年	昭和36年4月	ダクタイル鑄鉄の販売開始
1971年	昭和46年1月	第一次鑄物企業、構造改善事業に伴い、酒井ファンドリー・キャスティング・グループを結成
	昭和46年12月	第一次計画による低周波誘導溶解炉導入、FS法導入実施権工場として着手
1975年	昭和50年6月	高珪素鑄鉄ハイシロン14完成、東京都中小企業製品・高級化助成事業認可
1976年	昭和51年2月	超抗張力鑄鉄BD90を開発(90~110kgf/mm ²)、販売
1985年	昭和60年9月	蛍光X線分析装置、アムスラー万能試験機、熱膨張計導入、品質保証体制を確立
1993年	平成5年11月	酒井耐熱鑄工所から、CIを導入し、株式会社キャストに社名変更
1994年	平成6年3月	白河工場完成(構造改善モデル工場)設備・分析機器は全て新設
1995年	平成7年10月	「素形材産業環境優良工場」の表彰授与
1999年	平成11年10月	C.P.M.活動開始(当社におけるTPM活動の名称)
2001年	平成13年8月	半導体実装機分野に進出
2002年	平成14年6月	ロボット分野に進出
2004年	平成16年3月	インドネシア研修生受け入れ事業10年、インドネシア共和国労働移住大臣より感謝状授与
	平成16年9月	中子用5トン連続造型ミキサー・反転機付クレーン・木型倉庫・塗装場増設
2007年	平成19年3月	経済産業省の指導の元、「知的資産経営報告書」を作成、開示する
	平成19年6月	「元気なモノ作り中小企業300社2007年版」に選ばれる 「平成19年度戦略的基盤技術高度化支援事業」受託
2009年	平成21年2月	「雇用創出企業1,400社」に選ばれる
	平成21年6月	小型発光分光分析装置、黒鉛球状化率計測システム、デジタル超音波探傷器導入
2012年	平成24年3月	「知的資産経営報告書2012」を作成
	平成24年7月	福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助金認定
	平成24年9月	福島県白河圏域複合企業体『白河素形材ヴァレー』発足
2013年	平成25年11月	『白河素形材ヴァレー』が素形材連携経営奨励賞を受賞
2015年	平成27年6月	『THE LEADING JAPAN FOUNDRIES』として28社で「GIFA 2015」に出展
2016年	平成28年11月	『白河素形材ヴァレー』が「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2016の野村賞を受賞
	平成28年12月	『白河素形材ヴァレー』が「第2回ふくしま産業賞」の特別賞を受賞
2017年	平成29年3月	オリジナル商品「パワーブレード」を開発し、開始
2018年	平成30年3月	「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選ばれる
	平成30年10月	インドネシア研修生受け入れ事業25年、インドネシア共和国労働大臣より感謝状授与
	平成30年11月	ミニクラッシャー導入(マグネットセパレータ・振動シュート付)
2019年	令和1年6月	『THE LEADING JAPAN FOUNDRIES』として33社で「GIFA 2019」に出展
2020年	令和2年11月	コールドボックス ブロー成型設備導入
2021年	令和3年1月	溶解トレーサビリティシステム導入

白河工場主要設備一覧

当社では手始め自硬性プロセスを一部ライン化することによって生産効率を上げ、量産の数量に対応出来る体制を敷いております。

カテゴリー	設備名称	型式・能力・台数
造型	ロングアームミキサー	20t / 30t /h 1基
	ハイスピードミキサー	5t /h 1基
	エコミキサー	5t /h 1基
	振動テーブル	3.5t 1基、1.0t 2基
	ベニア自動供給装置	1基
	反転抜型機	3.5t 1基
	鑄型反転機	1.3t+1.3t 1基、5.0t 1基
	ブッカケ塗型装置	4式
	中子反転機	1.0t 1基、3.0t 1基
	塗型乾燥炉	1式
	コールドボックス造型機SB-20型	ガスボックス最大サイズ(1,600×500×470)
溶解	高周波誘導電気炉	1400kW 500Hz 2T 2炉
	溶解トレーサビリティシステム	
解砕-砂処理	フード付きシェークアウトマシン	10t /h 1基
	鑄型反転機	3.75t+3.75t 1基
	砂処理装置	10t /h 1式
	ミニクラッシャー	300kg /Hr 1式
仕上	クレーン式ショットブラスト	5t 1式
	堰折機	
運搬装置	半自動式造型かぶせライン	1式
	クレーン	10t×2基、7.5t×1基、5t×4基、2.8t×7基 その他
	走行台車	15t×1台、10t×2台、7.5t (B) ×10台 その他
環境	ダストコレクター	600m3/min 1式 400m3/min 1式 200m3/min 1式
	リングフード・取鍋フード	1式
	セントラルクリーナー	1式
	発光分光分析器(アメテック)	SPECTRO MAXx-BT
検査	溶湯成分管理装置(炉前成分測定)	NSP-3602 KR526
	溶湯性状管理装置(球状化率判定)	NSP-3601
	浸漬温度計(ニッサブ)	3台
	金属顕微鏡(オリンパス光学)	PME-3 (×50・100・200・400)
	黒鉛球状化率計測システム(オリンパス)	analySIS FIVE
	引張試験機(島津製作所)	UEH-50(金属材料万能試験機)
	ブリネル硬度計(前川試験機)	(φ10 3,000kg荷重)
	キングブリネル硬度計(富士試験機)	(φ10 3,000kg荷重)
	ショア硬度計(東京衡機・今井精機)	(Hs10~Hs80)
	超音波探傷器(菱電湘南エレクトロニクス)	UI-25(デジタル超音波探傷器)
倉庫	木型自動倉庫	147P 640㎡
	テント倉庫	495㎡
	テント倉庫	290㎡
	外部倉庫	166㎡

自動倉庫



造型



反転抜型機



電気炉



注湯



検査



砂処理



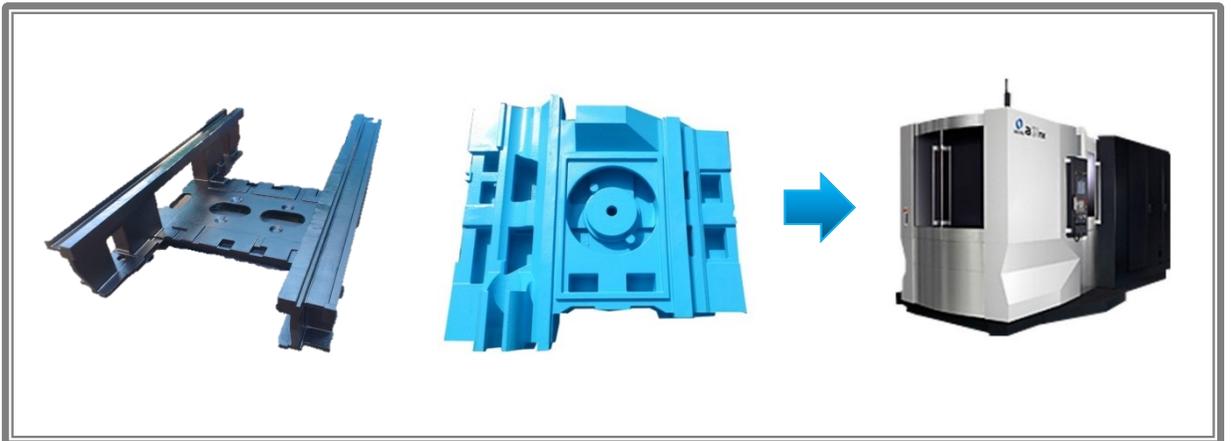
(1) 産業用ロボット

自動車の部品組み立て工程（ハンドリングやスポット溶接など）にはロボットがあらゆるところで活躍しています。当社ではロボットの腕（アーム）本体・ベース部などに使用されている鋳物を量産しています。この鋳物製品は中子が多く全体的に薄肉で、部分的に肉厚の変動がある為、高度な技術が必要とされます。



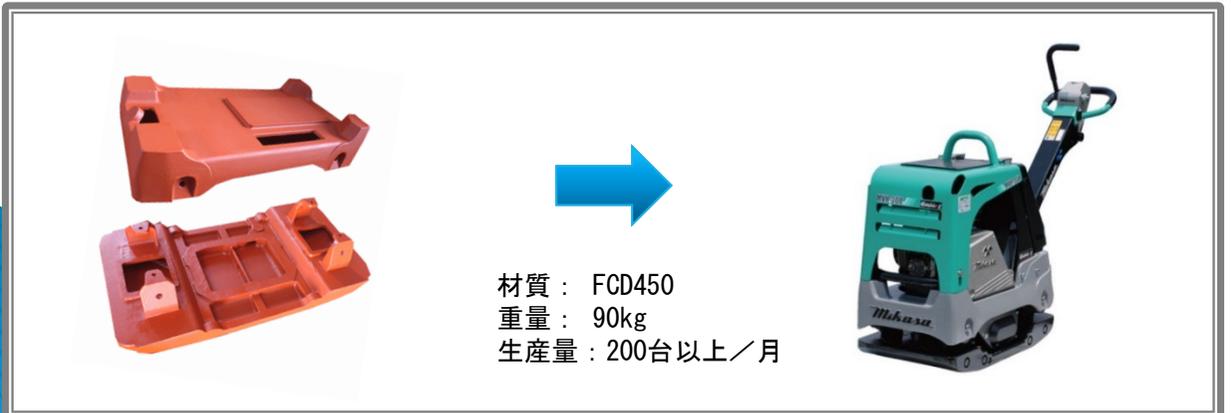
(2) 半導体実装機用フレーム・工作機フレーム

携帯電話、パソコンといった家庭用電化製品、自動車工業製品などにはプリント基板が入っています。このプリント基板にICなどの電子部品を搭載するのが半導体実装機です。当社ではこの半導体実装機の骨組みとなるフレームを量産しています。また工作機のフレーム鋳物も量産しています。



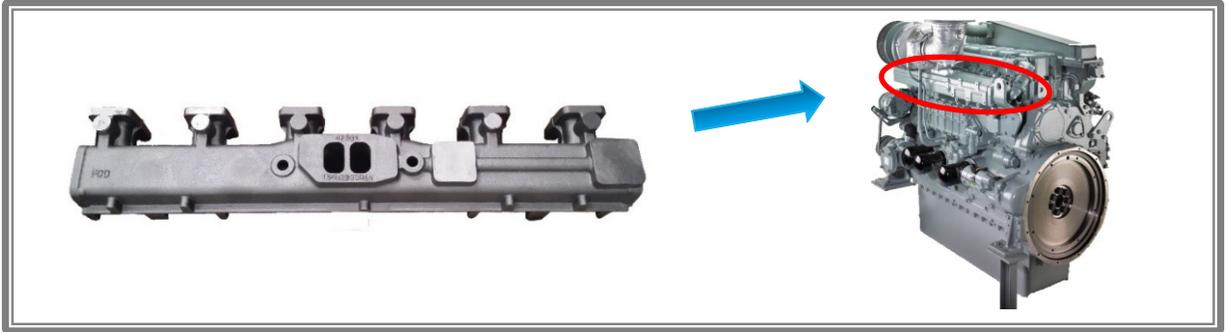
(3) 土木、建設機械関連

土や砂利、アスファルトなどを押して固める（輾圧する）機械がバイブロコンパクターです。歩道や水道工事などの面積が狭い工事で使用されます。当社では最も重要な輾圧部の鋳物を量産しています。この鋳物製品は地面と直接当たる面は高い平滑度を必要とし、常に振動している為、韌性が求められます。



(4) 船舶エンジン部品

船舶エンジン用の水冷式エグゾーストマニホールドを量産しています。非常に複雑な形状でエンジンメーカーの重要保安部品になりますので、高度な技術と品質、そして安定した数量の供給が求められます。

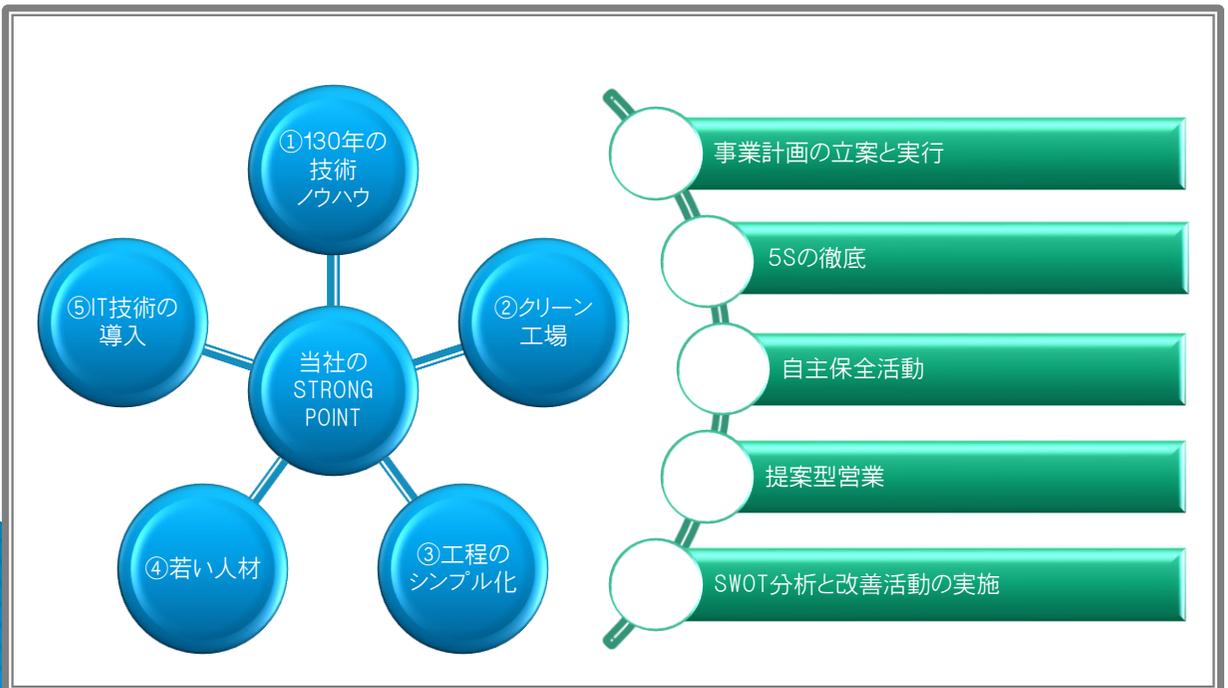


(5) フォークリフト アタッチメント「パワーブレード」

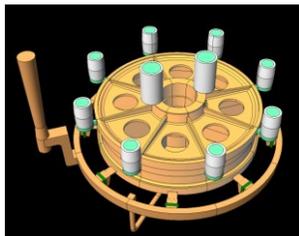
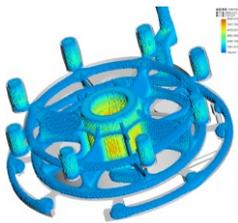
フォークリフトの爪に刺してラチェットで固定するだけで、ドーザーとして使用できます。当社オリジナルの製品を2017年に開発。創業130年の鋳物屋が本気で作った一級品、こだわりの一体構造で作られており、匠の技が光る鋳造製品です。交換可能な替刃付きのカッタータイプ、そして5トンフォークにも対応可能な大型ブレードも開発してラインナップを増やしました。



事業の強み



IT技術の活用



3D CAD・凝固シミュレーションの活用
湯流れ・凝固シミュレーションソフトを導入し、鋳型内のブラックボックスであった部分が、ビジュアル的に解明されてきています。ユーザーと鋳造品の設計開発の段階で、このシミュレーションソフトを利用して、ご提案をさせて頂いています。

安全教育



安全委員会を中心に安全パトロール・安全報告会を毎月行っています。社員だけでなく、派遣社員・インドネシア研修生も全員参加で実施しています。

工場を巡回し、危険箇所などについて報告資料を作成します。安全報告会において委員長より、事例の紹介・改善対策の実施状況についての報告が行われ、共通認識として継続していきます。

キャストが求める人材



2014年から新卒採用を始め、若い人材を継続的に採用しています。OJT (On-the-Job Training オン・ザ・ジョブ・トレーニング) による鋳造技術の向上および勉強会や資格取得を実践しています。また科学的・理論的に鋳造を理解できる日本鋳造協会開校の鋳造カレッジへ毎年参加し、鋳造技士 (Foundry Expert) の取得も進めています。学歴・経験不問。男女問わず、積極的に「ものづくり」に参加できる活気のある人材を求めています。

白河素形材ヴァレー



当社が代表となり、地元地域で素形材産業の連携チームを形成しています。鋳造・鍛造・ダイカスト・金型製作で生み出された素材を熱処理・加工し、ワンストップで提供する連携の取り組みは海外のお客様にも喜ばれています。世界に誇れる日本の技術をアピールし、福島県のさらなる産業の発展に貢献します。

SHIRAKAWA VALLEY



www.shirakawa-valley.com

白河工場

〒961-0302

福島県白河市東上野出島字笹久保2番地

TEL 0248-34-3971 FAX 0248-34-3973



交通手段	距離/時間
東北新幹線	東京 → 新白河 (乗車時間1時間26分)【下り】
	新青森 → 新白河駅 (乗車時間約3時間)【上り】
車	東北自動車道 浦和IC → 白河IC (165km)【下り】
	東北自動車道 青森IC → 白河IC (509km)【上り】

CAST Co., Ltd.



www.kkcast.co.jp